オープンオフィスの機能のひとつである Draw (ドロー)を使うと、立体的な画像を簡単に作成することが出来ます。

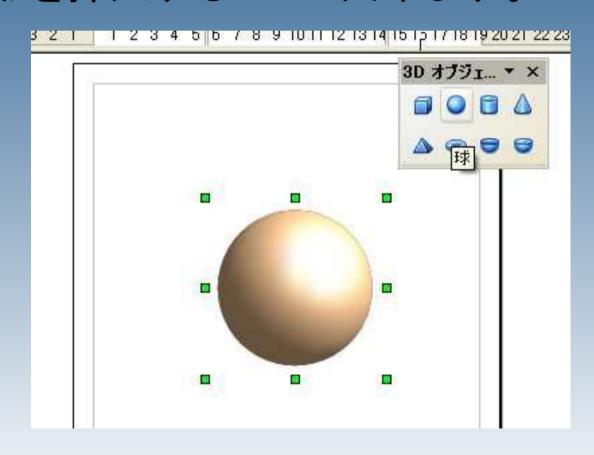
•「図形描画」を起動します。



「表示>ツールバー>3D オブジェクト」にチェックを 入れ、メニューを表示させます。

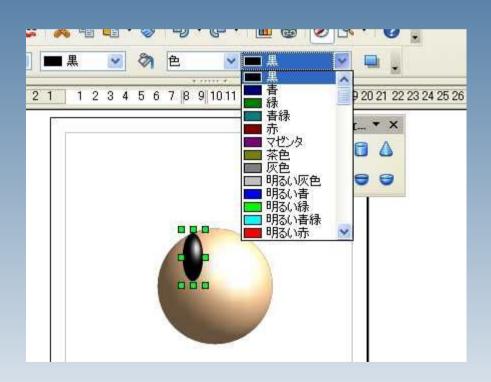


3 D オブジェクトメニューから、球形などの基本的な 図形を挿入することが出来ます。



OpenOffice.org

通常の図形と同様に、縦横のサイズや色を変更することが可能です。

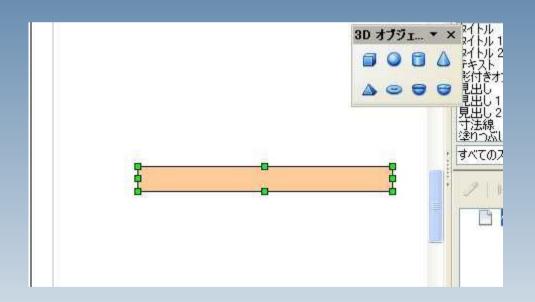


回転機能を使って、図形の向きを変えることも出来ます。

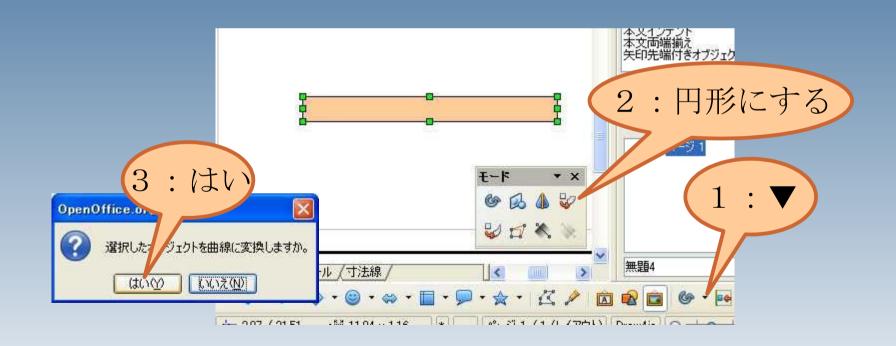


OpenOffice.org

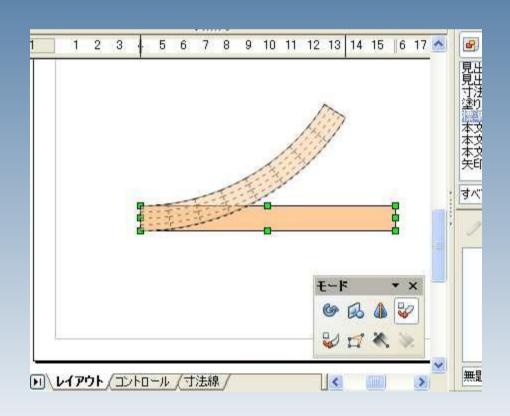
次に回転機能を使って、ザルを作成します。 通常の図形機能を使って、四角を作成してください。



「モード」メニューから、円形に変形する機能を呼び出します。

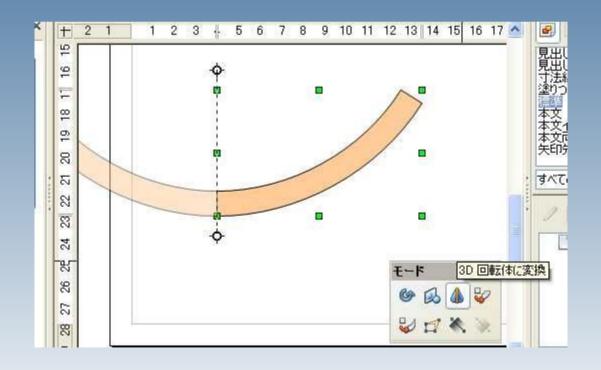


図形を歪めます。



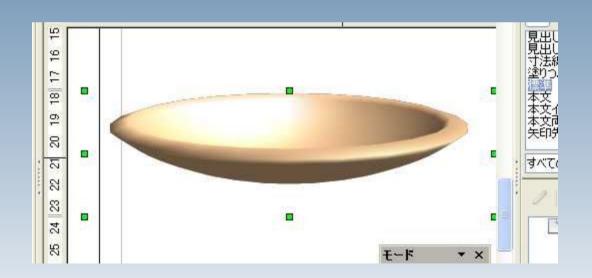
OpenOffice.org

モードメニューから「3D回転体に変換」を選択します。



OpenOffice.org

• 皿型になりました。

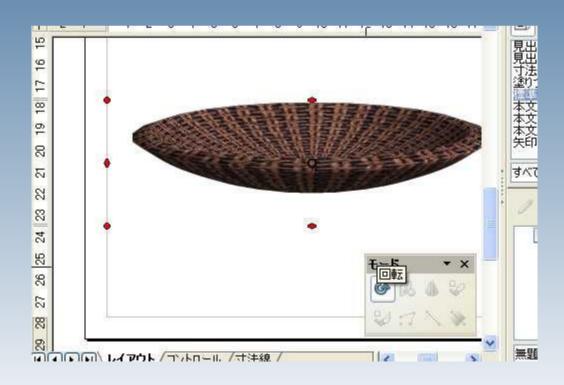


OpenOffice.org

皿の表面に画像を張ります。
色選択メニューから「ビットマップ」を選択し、「麻織物」
を続けて選択してください。

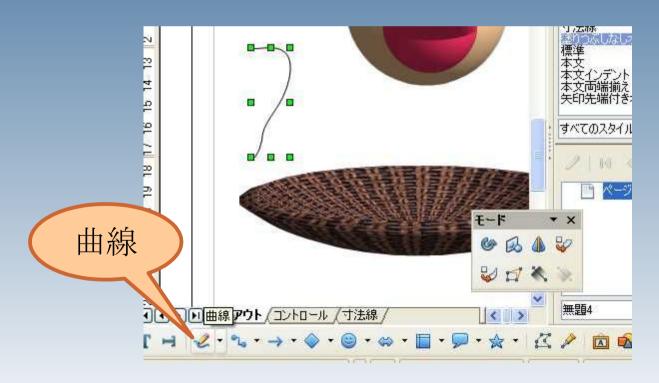


• 回転機能で角度を調整しましょう。



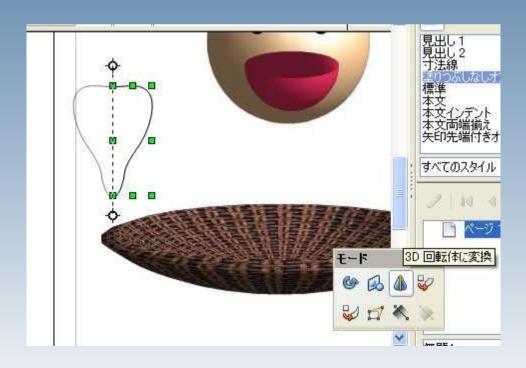
OpenOffice.org

• 次に人参を作成します。 曲線ツールを使い、人参の断面(の縦半分)を描き ます。



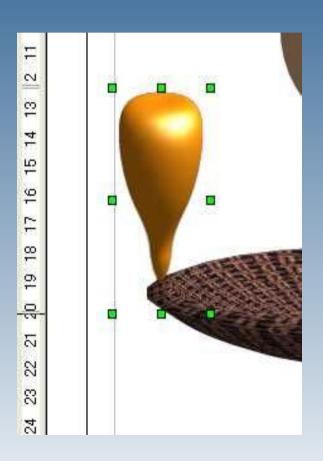
OpenOffice.org

• 回転体に変換します。

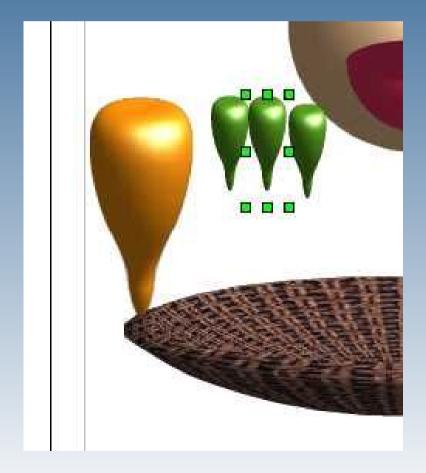


OpenOffice.org

• 色とサイズを調整します。



• 葉っぱ用に、複製から色違いの小さいものを作成します。



• 回転機能を使って角度を調整し、人参の形に揃え ます

• 揃え終わったらグループ化しておきます



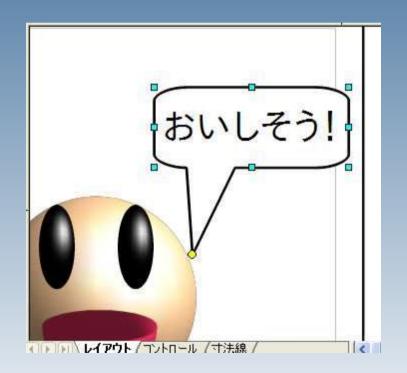
OpenOffice.org

・コピーを作成してザルに並べます。



OpenOffice.org

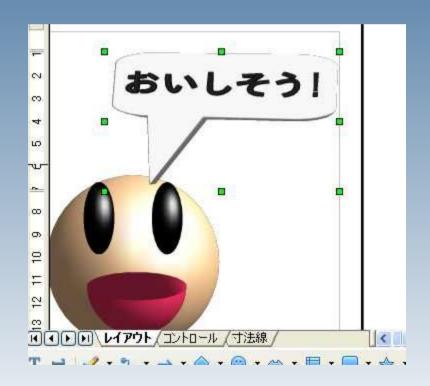
• 最後にふきだしを作成します。(線の太さは変えないで下さい)



ふきだしを右クリック>変換>立体に変換 と選 択します。



• ふきだしも立体に出来ました。



• 完成しました。



OpenOffice.org

右クリックメニューから「3D効果」を呼び出すと、 光源の方向などさらに詳しい設定を行うことがで

きます。

3 D 画像を使し りに挑戦しまし



OpenOffice.org

作